

# 天理市埋蔵文化財センターだより

## Vol.24

### 平成29年度夏の文化財展

平成29年  
7月1日(土)~  
7月23日(日)

〔会場〕  
天理市文化センター  
〔主催〕  
天理市教育委員会



三味田 頭人児

大和神社ちゃんちゃん祭りの  
記録と伝承

### 平成29年度夏の文化財展

#### 大和神社ちゃんちゃん祭りの 記録と伝承

平成29(2016)年7月1日(土)~7月23日(日)

※ 9:00 ~ 17:00

※ 月曜日、17日(月・祝)、18日(火)は休館

会場：天理市文化センター1階展示ホール

©文化財講演会

会場：天理市文化センター1階展示ホール

日程：平成29年7月23日(日) 14:00 ~ 16:30

天理市内には、原始・古代から近現代に至る数多くの文化財が所在します。天理市教育委員会文化財課では、平成18年度より夏と冬、年2回の文化財展示をおこない、市内の文化財と市の歴史について理解を深めていただけるよう努めています。

今回は平成29年度夏の文化財展特集として、天理市教育委員会が中心となって民俗調査を実施した大和神社の祭礼「ちゃんちゃん祭り」について、大和郷の各地に残る記録と伝承を中心に、民俗調査の成果をご紹介します。

おおやまとじんじや

# 大和神社

## ちゃんちゃん祭りの記録と伝承



三昧田・佐保庄のカザグルマ



大和神社

### 大和神社ちゃんちゃん祭り

天理市の南部、朝和校区に所在する大和神社では、4月1日の神幸祭で御渡りが行われます。御渡りは、大和神社から中山町の御旅所まで、御幣や御神輿を伴いながら氏子地区の人々が羽織袴や烏帽子に白の浄衣姿で参列します。大和神社の氏子地区は、佐保庄、三昧田、萱生、兵庫、長柄、成願寺、新泉、中山、岸田からなる9か所の町で形成し、これを「九力大字」と呼んでいます。祭りに際して各大字は「頭屋」を選出し、頭屋は神の子として「頭人兒」を出し、頭屋宅の門前には大和神社の分霊として「門飾り」を据えます。祭りは3月23日の宮入から始まり、この日を皮切りに各大字では活甃に祭りの準備が進められ、3月31日の宵宮、4月1日の本宮と御渡り、4月2日の後宵祭りまで11日間にわたって祭礼が行われます。



大和神社の位置

### 祭りの季節と御旅所

現在のちゃんちゃん祭りは桜がほころぶ陽暦の4月1日に行われていますが、これは明治維新からのことです。天明6（1786）年や寛政3（1791）年など近世の記録にも4月朔日とあり、かつては陰暦の4月1日に祭りが行われていたことがわかります。これは現在の陽暦では4月末～5月ころにあたり、ちょうど麦の収穫が近づき苗代作りが始まるころ。もともとは五穀豊穡の祈願に相応しい季節に行われていたお祭りなのです。



御旅所にて

文明13（1481）年や延徳3（1491）年などの中世の記録によると、二基の神輿がシリカケに立ち寄り、中山寺まで御渡りをしています。シリカケは御渡りの行列が休憩していた場所と考えられ、上街道沿いにある岸田町の「オヤスミ」の場所と思われます。今の御渡りの行路は中世のころと変わっていないようです。

中山寺は中山大塚古墳の辺りに建立されていた寺院で、今は廃寺になっていますが、大和神社の神宮寺であったと考えられています。創建は奈良時代で十一面観音像を本尊とし、



御旅所

室町時代の天正4（1576）年には兵火で焼失しています。現在の御旅所の近くにある大塚山念仏寺や中山町の集会所がある観音堂は、そうした寺院の名残と考えられます。江戸時代のころ御渡りが中山寺に近づくと、鱈（楽器）の口を鳴らして到着を知らせたとされています。今は太鼓や鉦鼓を鳴らしていますが、これが「ちゃんちゃん祭り」と呼ばれてきた由縁とされています。

## 御渡りと氏子

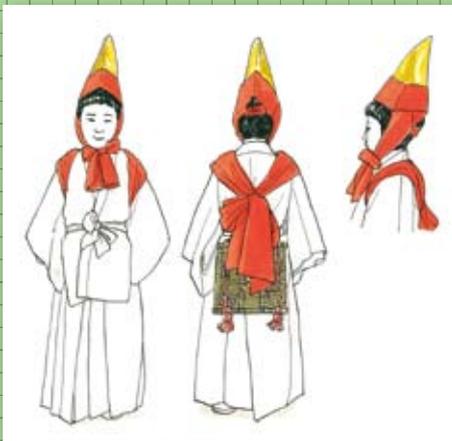
4月1日の御渡りには1番～43番の渡御順と役名があります。渡御順は九カ大字の氏子が分担して務め、分担はくじ引きで決まります。1番くじの町は、鉄棒・産子幣・猿田彦（天狗）を受け持ち、9番までくじによる分担が決められています。神輿など大物は複数の大字から人足を調達します。このほか「常持ち」と呼ばれる役割があります。兵庫が受持つ龍頭・千代山鉾、新泉が受持つ翁の舞い・梅ズワイ・小幣・太鼓、長柄が受持つ錦旗・樂鉦鼓・矛などです。また、特別な役割として、中山は御旅所で各大字のお供えものを受け付け、準備したチマキ400本を分配します。岸田はお渡りの神馬6頭を調達します。成願寺は牛の舌餅200枚を準備し大和神社に献饌します。大和神社ちゃんちゃん祭りは、こうした氏子地区の役割と連携により営まれているのです。



佐保庄 お渡りを前にして



龍頭



岸田 頭人児

天理市教育委員会が中心となって実施した大和神社ちゃんちゃん祭りの民俗調査では、祭礼の写真・映像の撮影のほか、装束や道具類のイラストの作成もおこないました。

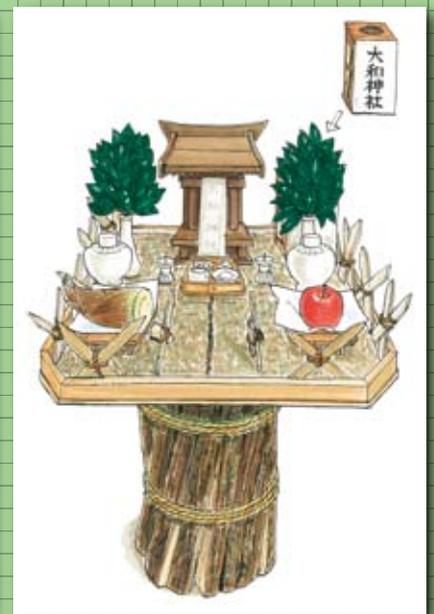


産子幣 大幣 小幣

大和神社 御幣



佐保庄 御幣



岸田 門飾り

## 神霊を祀る頭屋

頭屋は1年間をとおして床の間にオヤカタを据え、大和神社の分霊を祀ります。3月23日の宮入を迎えると、頭人児とともに物忌みに服し3月31日の宵宮まで毎日大和神社に参拝する習わしとされています。頭屋宅の門前には門飾りを据え、オヤカタを祀る床の間には御幣や大字の旗を供え、祭りが近づくと神の御座を強く意識した日々を迎えます。また神霊の象徴とされる御幣の扱い方にも祭礼を意識した特徴を見ることができます。頭屋は白米をつけた竹の御幣をつくり、3月31日の宵宮で大和神社に奉納します。参拝のあと大和神社から産子幣が授与され、4月1日の本宮で御渡りに用いる新しい御幣（産子幣）を持ち帰ります。頭屋は宵宮と本宮の御渡りをとおして、竹の御幣と産子幣を用いながら新・旧神霊の送り迎えをしているのです。



オヤカタ



御幣と本宮



# 出動！発掘現場レポート！！

平成 28 年度下半期の調査

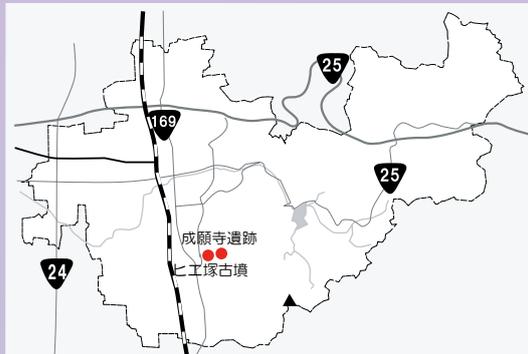
天理市教育委員会は平成 28(2016) 年度下半期に発掘調査を 2 件実施しました。ここではその成果をいち早くお知らせいたします。

## ■ヒ工塚古墳第 3 次

大和古墳群の基礎調査に伴い萱生町内で発掘調査をおこないました。墳丘裾の基底石と葺石の状況を確認しました。

## ■成願寺遺跡第 22 次

個人住宅建設に伴い萱生町で発掘調査をおこないました。周囲の地割りに平行する平安時代以降の落ち込みを確認しました。



■平成 28 年度下半期の調査遺跡



■ヒ工塚古墳第 3 次  
葺石検出状況

平成 28 年度の調査成果は  
今年度冬の文化財展で  
展示するよ！



### 田原本町 唐古・鍵考古学ミュージアムからのお知らせ

8 月は観覧料無料！ ※9 月からリニューアル工事のため休館予定  
8/3 (木)、4 (金) に小学生向け体験イベント (銅鐸づくり・ガラス玉づくり) を開催！  
詳細はホームページで！

唐古・鍵考古学ミュージアム TEL : 0744-34-7100  
天理市教育委員会・田原本町教育委員会は文化財展示を連携して実施しています。

発行◆天理市教育委員会文化財課  
天理市埋蔵文化財センター  
〒632-0017 奈良県天理市田部町 320  
Tel・Fax 0743-65-5720

印刷◆